

3. 次代に引き継ぐ快適で美しい安らぎのまち

- 生活・自然環境の向上 -

市民、企業・団体と行政の協働により、次代に向けて持続可能な循環型社会の構築を目指すとともに、環境と共生する緑豊かな美しいまちづくりを進めます。また、市民の生命と財産を守るため災害に強いまちづくりを進め、安全で安心なまちをつくりまします。

1. 自然環境保全

- 自然環境保全・保護の意識の高揚
- 自然環境の保全・再生と創出
- 自然との共生

2. 公園・緑地緑化の推進

- 公園・緑地の創出
- 公園・緑地の保全
- 緑化の推進
- 農地の保全・活用

3. 景観形成

- 総合的な景観形成の推進
- 都市景観の形成
- 自然環境の保全・形成
- 市民参加の景観づくり

4. 住宅・住環境・定住促進

- まちなか居住の再生
- 公営住宅ストックの有効活用
- 良好な居住環境の誘導
- 市内への定住促進
- 建築物の安全性の確保
- 市民の居住環境の向上及び地域経済の活性化

5. 上水道

- 安心・快適な生活環境の創造
- 危機管理対策の充実
- 持続可能な事業経営
- 満足度の高いお客様サービスの向上
- 環境に配慮した事業の推進

6. 下水道

- 安心・快適な生活環境の創造
- 危機管理対策の充実
- 持続可能な事業経営
- 満足度の高いお客様サービスの向上
- 環境に配慮した事業の推進

7. 河川・水路

- 河川の改修
- 浸水地域の解消
- 水辺空間の保全・整備
- 河川美化・浄化の推進
- 水路等の維持・管理

8. 循環型社会の構築

- 循環型社会の構築
- ごみの減量化と発生抑制
- リサイクルプラザの活用
- ごみ処理体制の整備
- ごみ処理施設の管理・運営
- し尿処理の適正な推進

9. 環境保全

- 環境美化
- 地球環境の保全
- 公害防止対策
- 快適環境の保全

10. 防災対策

- 災害に強いまちづくり(予防対策)
- 災害応急対策
- 災害復旧対策
- 自主防災組織の強化

11. 消防

- 防火思想の普及・啓発
- 火災予防対策の推進
- 防火管理体制の充実
- ネットワーク化・情報化の充実
- 常備消防の充実
- 非常備消防の充実

12. 防犯対策

- 地域防犯力の向上(地域防犯活動の促進・支援)
- 防犯体制の強化

13. 消費生活

- 消費者利益の擁護及び増進
- 消費者教育の推進
- 消費者相談の充実
- 適正な計量の実施

14. 交通安全対策

- 交通安全意識の向上
- 交通環境の整備・向上
- 交通事故被害者の救済

1 自然環境保全

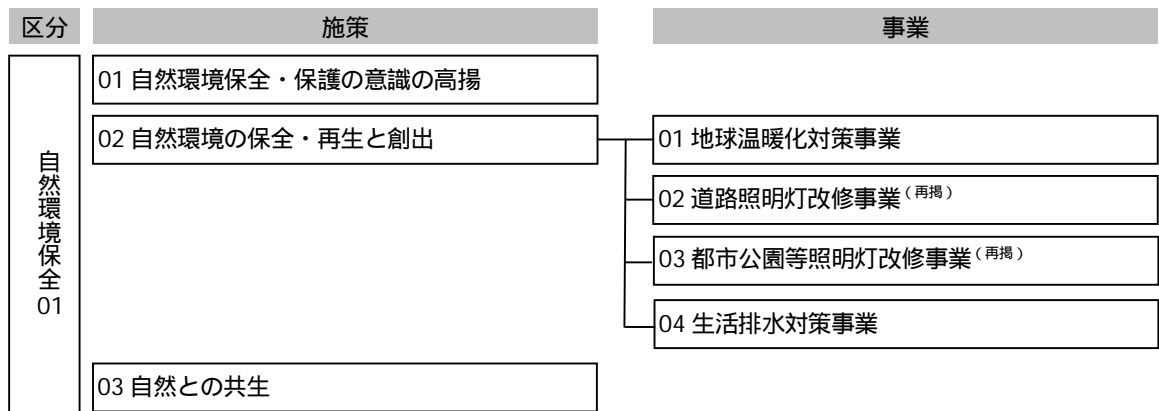
施策の基本的考え方

自然を大切にすること意識の高揚と自然保護活動を促進します。

うるおいを感じる自然環境の保全・創出に努めます。

自然と人とが共生できる土地利用を推進します。

施策・事業の体系



02 自然環境の保全・再生と創出

| | | | | | |
|----------------------------|--------|-----|---------------|------|----------|
| 地球温暖化対策事業 【事業 03010201】 | 担当部課係名 | 環境部 | 環境保全課 | ダイヤル | 241-4312 |
| | | | 保全係 温暖化対策係 | | |

事業概要

市民、事業者及び行政が協働し、地球温暖化の原因となる温室効果ガスの排出量の削減を図る。

現況と課題

地球温暖化問題において、温室効果ガスの排出の抑制に努めることは勿論であるが、吸収源となる森林に存在する木質バイオマスについて、その効果が十分に周知されていないため、いかに周知を図っていくかが課題である。

今後の事業展開

甲府市地球温暖化対策地域協議会等との協働による新エネ・省エネ対策の普及・啓発。

児童・園児を対象とした環境教育の充実・拡大。

改正省エネ法に伴う庁内エネルギー使用量の低減の推進。

技術開発や普及状況等を考慮する中での、クリーンエネルギー設備の設置世帯に対する助成金制度の充実。

甲府市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）*の推進及び進行管理。

第二次甲府市環境基本計画*の推進及び進行管理。

環境教育プログラムの策定及び推進。

家庭から排出される二酸化炭素排出量を削減するための「うちエコ診断」の実施。

| 成果指標 | 実績値 | 見込み値 | 目標値 | | | 目標値 (H26～28) |
|---------------------------------|-----------|------|---------|--------|--------|-------------------|
| | | | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 | |
| 温室効果ガス排出量削減率(%) (対:平成20年度基準) | 現時点では検証不能 | 5 | 7 | 10 | 13 | 13 |
| | | | | | | |
| 事業費 (千円) | 当初予算額(千円) | | 計画額(千円) | | | 計画額合計 (H26～28) |
| | 平成25年度 | | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | |
| | 30,118 | | 27,804 | 26,970 | 26,970 | 81,744 |

| | | | | | |
|---------------------------------------|--------|-----|-------|------|----------|
| 道路照明灯改修事業 【事業 03010202 05050201】再掲 | 担当部課係名 | 建設部 | 道路河川課 | ダイヤル | 237-5843 |
| | | | 道路係 | | |

| | | | | | |
|--|--------|-----|-------|------|----------|
| 都市公園等照明灯改修事業 【事業 03010203 03020101】再掲 | 担当部課係名 | 建設部 | 公園緑地課 | ダイヤル | 223-6101 |
| | | | 公園係 | | |

*のついた用語は用語解説をご参照ください。

| | | | | | |
|---------------------------|--------|-----|-------|------|----------|
| 生活排水対策事業 【事業 03010204】 | 担当部課係名 | 環境部 | 環境保全課 | ダイヤル | 241-4312 |
| | | | 公害係 | | |

事業概要

健全な動植物が生息する自然環境を目指し、公共用水域における良好な水環境の保全のため、更なる水質改善を図る。

現況と課題

公共用水域の汚濁の原因となっている生活排水による負荷の低減を図るため、浄化槽設置者に浄化槽の清掃・保守点検・水質検査の3つの義務についての啓発・指導を強化していくことが必要である。

今後の事業展開

公共用水域の水質は、本事業により改善傾向を示しているが、生活排水対策を推進していくためには、継続的な事業の実施が重要である。このため、引続き啓発事業、浄化槽の維持管理指導、浄化槽設置補助事業を行い、浄化槽の水質検査受検率や保守点検・清掃の実施率の向上を図り、公共用水域の更なる水質改善に努める。

| 成果指標 | 実績値 | 見込み値 | 目標値 | | | 目標値 (H26～28) |
|-------------------------|-----------|--------|---------|--------|--------|-------------------|
| | | | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 | |
| 環境基準値(BOD)の達成 (mg/) | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | (H26～28) |
| | 3.2 | 5.0以下 | 5.0以下 | 5.0以下 | 5.0以下 | 5.0以下 |
| 事業費 (千円) | 当初予算額(千円) | | 計画額(千円) | | | 計画額合計 (H26～28) |
| | 平成25年度 | | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | |
| | 20,350 | | 24,911 | 24,266 | 24,206 | |

2 公園・緑地緑化の推進

施策の基本的考え方

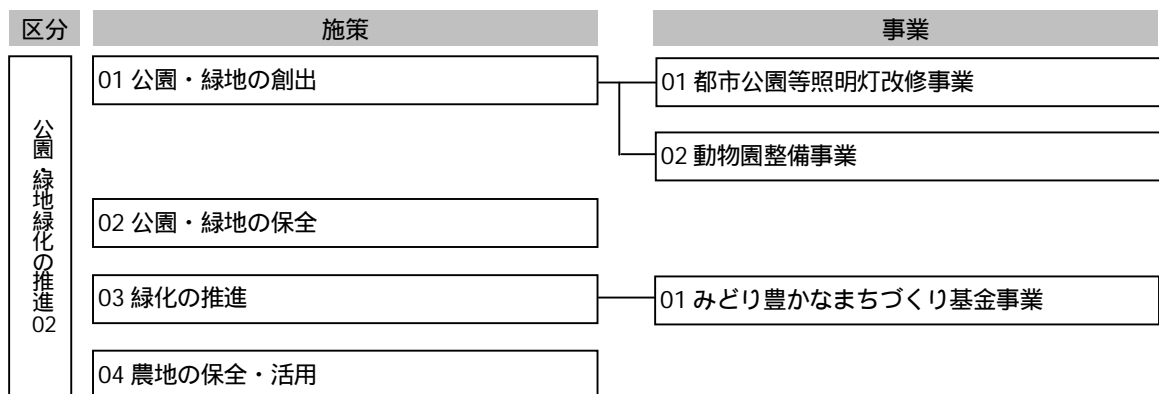
都市環境の改善や市民のレクリエーション需要に応える都市公園・河川敷緑地等の整備に努めます。

健康で文化的な市民生活のために、緑地の保全及び既設公園や動物園の充実に努めます。

公共施設及び地域の緑化を推進し、緑豊かな明るい住みよい環境づくりに努めます。

市街化区域内やその周辺に広がる農地の保全・活用を図り、緑地の保全に努めます。

施策・事業の体系



01 公園・緑地の創出

| | | | | | |
|--|--------|-----|-------|------|----------|
| 都市公園等照明灯改修事業（省エネ・グリーン化推進事業）【事業 03020101】 | 担当部課係名 | 建設部 | 公園緑地課 | ダイヤル | 223-6101 |
| | | | 公園係 | | |

事業概要

甲府市が温室効果ガスの排出削減を率先して取り組むことを目的として実施する、省エネ・グリーン化推進事業の一環として、都市公園等の照明灯を省エネ型照明であるLED照明へ交換する。

現況と課題

LED灯具の単価は従来の灯具の数倍程で、非常に高価である。なお、公園内の照明設備は多くが老朽化しているため、灯具の交換とともに照明灯用柱や地中電線の交換が必要な場合がある。その場合は、照明設備の配置の見直しを検討する必要がある。

今後の事業展開

都市公園管理事業の一環として、公園内のトイレの照明灯等についても、LED照明に順次交換を行う。なお、LED照明の市民への普及、啓発を図るため、公園内の照明灯をLEDに交換工事していることがわかる看板を設置する。

| 成果指標 | 実績値 | 見込み値 | 目標値 | | | 目標値合計 (H26～28) |
|--------------------|-----------|-------|---------|--------|--------|-------------------|
| | | | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 | |
| 消費電力量の削減量 (kwh) | 6,278 | 6,278 | 6,278 | 6,278 | 6,278 | 18,834 |
| 事業費 (千円) | 当初予算額(千円) | | 計画額(千円) | | | 計画額合計 (H26～28) |
| | 平成25年度 | | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | |
| | 4,000 | | 4,000 | 3,880 | 3,880 | |

| | | | | | |
|--------------------------|--------|-----|-------|------|----------|
| 動物園整備事業 【事業 03020102】 | 担当部課係名 | 建設部 | 公園緑地課 | ダイヤル | 223-6101 |
| | | | 公園係 | | |

事業概要

遊亀公園附属動物園開園100周年に向け、老朽化した公園・動物園施設をリニューアルするため事業実施する。

現況と課題

遊亀公園附属動物園は、日本で4番目に長い歴史を持つ動物園であるが、狭小な獣舎での動物たちの飼育環境や、施設の老朽化などが課題となっており抜本的改修が必要となっている。

今後の事業展開

平成26年度～平成28年度整備計画策定委員会などを開催し、公園と動物園の一体的な整備方針を決定し、基本設計、実施設計を業務委託し、平成30年度の整備改修工事着手を目指す。

| 成果指標 | 実績値 | 見込み値 | 目標値 | | | 目標値合計 (H26～28) |
|---------------|-----------|------|---------|--------|--------|-------------------|
| | | | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 | |
| 動物園整備率 (%) | - | - | 10 | 10 | 10 | 30 |
| 事業費 (千円) | 当初予算額(千円) | | 計画額(千円) | | | 計画額合計 (H26～28) |
| | 平成25年度 | | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | |
| | - | | 5,203 | 8,167 | 10,107 | |

03 緑化の推進

| | | | | | |
|----------------------------------|--------|-----|-------|------|----------|
| みどり豊かなまちづくり基金事業 【事業 03020301】 | 担当部課係名 | 建設部 | 公園緑地課 | ダイヤル | 223-6101 |
| | | | 公園係 | | |

事業概要

緑の織りなすゆとりあるまちづくりや花のあるまちづくりの推進を図る。

現況と課題

花を供給することで、植栽や維持管理を行っているが、さらに花いっぱい運動を推進していくためには、自らが作り育てていくという意識の改革を図る必要がある。

今後の事業展開

「みどり豊かな快適都市甲府」の実現に向け、継続して自らのまちは自らの手でつくると意識の高揚を図る。

| 成果指標 | 実績値 | 見込み値 | 目標値 | | | 目標値合計 (H26～28) |
|--------------------------------|-----------|---------|---------|---------|---------|-------------------|
| | | | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 | |
| 花いっぱい緑いっぱい運動の 推進として花の供給数(株) | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 330,000 |
| | 116,437 | 110,000 | 110,000 | 110,000 | 110,000 | |
| 事業費 (千円) | 当初予算額(千円) | | 計画額(千円) | | | 計画額合計 (H26～28) |
| | 平成25年度 | | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | |
| | 12,090 | | 12,422 | 10,400 | 10,400 | |

3 景観形成

施策の基本的考え方

都市環境の美化を推進し、公共施設的美観の向上や広告物等の景観への調和に努めます。
魅力的な都市景観の誘導に努めます。
緑地や自然景観の保全に努めます。
市民参加による景観形成を促進し、住宅地の良好な景観の確保に努めます。

施策・事業の体系

| 区分 | 施策 | 事業 |
|------------|----------------|------------------------|
| 景観形成 03 | 01 総合的な景観形成の推進 | 01 都市基本計画推進事業（再掲） |
| | 02 都市景観の形成 | 01 みどり豊かなまちづくり基金事業（再掲） |
| | 03 自然景観の保全・形成 | |
| | 04 市民参加の景観づくり | |

01 総合的な景観形成の推進

| | | | | | |
|--|--------|-----|--------------|------|--------------|
| 都市基本計画推進事業 【事業 03030101 05020101】再掲 | 担当部課係名 | 建設部 | 都市計画課 計画係 | ダイヤル | 237- 5819 |
|--|--------|-----|--------------|------|--------------|

02 都市景観の形成

| | | | | | |
|---|--------|-----|--------------|------|--------------|
| みどり豊かなまちづくり基金事業 【事業 03030201 03020301】再掲 | 担当部課係名 | 建設部 | 公園緑地課 公園係 | ダイヤル | 223- 6101 |
|---|--------|-----|--------------|------|--------------|

4 住宅・住環境・定住促進

施策の基本的考え方

中心市街地の活性化と魅力あるまちづくりに努めます。
 社会的セーフティネットとしての公営住宅の整備活用に努めます。
 開発許可制度などにより、良好な居住環境の誘導に努めます。
 融資制度や助成制度などの活用により、市内への定住促進に努めます。
 建築物耐震化支援事業により建築物の安全性の確保に努めます。
 市民の居住環境の向上及び地域経済の活性化に努めます。

施策・事業の体系

| 区分 | 施策 | 事業 |
|-------------------|-------------------------|-------------------------|
| 住宅・住環境・定住促進 04 | 01 まちなか居住の再生 | 01 中心市街地商業等活性化事業（再掲） |
| | | 02 甲府駅周辺土地区画整理事業（再掲） |
| | | 03 都市計画道路整備検討事業（再掲） |
| | | 04 和戸町竜王線整備事業（再掲） |
| | | 05 まちなか健やかサロン運営事業（再掲） |
| | | 06 中心市街地活性化基本計画推進事業（再掲） |
| | | 07 中心市街地定住促進事業 |
| | 02 公営住宅ストックの有効活用 | 01 公営住宅整備事業 |
| | 03 良好な居住環境の誘導 | 01 アスベスト飛散防止対策事業 |
| | 04 市内への定住促進 | |
| | 05 建築物の安全性の確保 | 01 建築物耐震化支援事業 |
| | 06 市民の居住環境の向上及び地域経済の活性化 | 01 住宅リフォーム助成事業 |

01 まちなか居住の再生

| | | | | | |
|------------------------------|--------|-----|-------|------|----------|
| 中心市街地定住促進事業 【事業 03040107】 | 担当部課係名 | 建設部 | 都市計画課 | ダイヤル | 237-5814 |
| | | | 計画係 | | |

事業概要

中心市街地への定住を促進するため、中心市街地活性化基本計画区域内の住宅取得等を行う世帯に対して、購入費補助及び改修費助成を行う。

現況と課題

定住人口の増加という事業目標の達成に向け、市民や事業者などへの周知を図る必要がある。また、転入者のニーズの把握と、施策推進に努めることなどにより、中心市街地活性化を推進することが求められている。

今後の事業展開

市民や事業者などへの周知を図り円滑な事業の推進に努めるとともに、事業を利用した転入者の意向調査を行う中で、当事業の有効性の検証や今後の中心市街地の活性化事業への反映の参考とする。

| 成果指標 | 実績値 | | 見込み値 | | | 目標値 (H26～28) |
|-------------|-----------|--------|---------|--------|--------|-------------------|
| | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | |
| 住宅取得・改修数(件) | - | - | 10 | 31 | 82 | 123 |
| 事業費 (千円) | 当初予算額(千円) | | 計画額(千円) | | | 計画額合計 (H25～27) |
| | 平成25年度 | | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | |
| | - | | 3,500 | 11,834 | 36,278 | 51,612 |

| | | | | | |
|---|--------|-----|---------|------|----------|
| 中心市街地商業等活性化事業 【事業 03040101 04010201】再掲 | 担当部課係名 | 産業部 | 商工課 | ダイヤル | 237-5693 |
| | | | 商店街活性化係 | | |

| | | | | | |
|---|--------|-----|-------------|------|----------|
| 甲府駅周辺土地区画整理事業 【事業 03040102 05010101】再掲 | 担当部課係名 | 建設部 | 区画整理課 | ダイヤル | 230-1029 |
| | | | 換地係・補償係・工事係 | | |

| | | | | | |
|--|--------|-----|---------|------|----------|
| 和戸町竜王線整備事業 【事業 03040104 05040101】再掲 | 担当部課係名 | 建設部 | 都市整備課 | ダイヤル | 223-7055 |
| | | | 工事係・用地係 | | |

| | | | | | |
|--|--------|-----|-------|------|----------|
| まちなか健やかサロン運営事業 【事業 03040105 01050401】再掲 | 担当部課係名 | 福祉部 | 健康衛生課 | ダイヤル | 237-2586 |
| | | | 保健係 | | |

| | | | | | |
|---|--------|-----|--------|------|----------|
| 中心市街地活性化基本計画推進事業 【事業 030401061 06020102】再掲 | 担当部課係名 | 企画部 | まちづくり課 | ダイヤル | 237-5319 |
| | | | まちづくり係 | | |

02 公営住宅ストックの有効活用

| | | | | | |
|---------------------------|--------|-----|-----|------|----------|
| 公営住宅整備事業 【事業 03040201】 | 担当部課係名 | 建設部 | 住宅課 | ダイヤル | 237-5812 |
| | | | 住宅係 | | |

事業概要

当該事業は、昭和30年度から42年度に建設された市営団地・北新三団地（北嶺荘・竜雲荘・むつみ荘）について、老朽化が著しいため、年次計画で建替事業を行う計画となっている。優良な公営住宅ストックを確保、安定供給することを目的に、小学校を挟んで南北に位置していた団地を北新小学校北側に集約して建替整備を行っている。事業実施に当たっては、居住面積水準の確保、ユニバーサルデザイン等、子育てしやすい居住環境、高齢者・障害者に配慮した住宅を整備し、安心・安全で良好な居住環境づくりを行う。

現況と課題

建替事業においては、世代混住型の団地を整備することになっており、北新地区の“まちづくり”の観点からの事業推進が求められている。また、建替に際しては、入居者の生活に支障をきたさぬよう仮住先の確保や、他の市営住宅等への移転・住替えを勘案しながら事業を推進する必要がある。

今後の事業展開

当初計画、再生計画に基づき、平成26年度から北新団地A棟（123戸）の供用開始、北嶺荘の建替分に相当する（仮称）D棟（36戸）の建設工事に着手予定。引き続き、B棟（63戸）・C棟（77戸）と順次建替を行い平成32年度までに住替を含む全体の建替事業を完了していく。

| 成果指標 | 実績値 | | 見込み値 | | 目標値 | | 目標値 (H26～28) |
|-------------|-----------|--------|---------|---------|---------|--------|-------------------|
| | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成28年度 | |
| 建替え戸数(戸) | - | 123 | - | 36 | - | - | 36 |
| 事業費 (千円) | 当初予算額(千円) | | 計画額(千円) | | | | 計画額合計 (H26～28) |
| | 平成25年度 | | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | | |
| | 1,094,608 | | 332,181 | 504,599 | 465,954 | | 1,302,734 |

03 良好な居住環境の誘導

| | | | | | |
|--------------------------------|--------|-----|-------|------|----------|
| アスベスト飛散防止対策事業 【事業 03040301】 | 担当部課係名 | 建設部 | 建築指導課 | ダイヤル | 237-5828 |
| | | | 指導係 | | |

事業概要

この事業は、本市全ての建物を対象に、アスベスト被害の発生を予防し、市民の健康の保護及び生活環境の保全を図るため、成分調査や除去費用に対して補助するものである。

現況と課題

経済状況の落ち込みにより除去費用を負担する余裕が建物所有者にない。

今後の事業展開

甲府市のホームページや広報誌を活用し、本制度を広く市民に周知するとともに、イベント会場でのPR活動などを積極的に進める。また、吹き付けアスベスト実態調査に基づき、その存在が明らかな建築物の所有者を戸別訪問し、除去等に関する指導助言を行い事業の推進を図る。

| 成果指標 | 実績値 | | 見込み値 | | 目標値 | | 目標値合計 (H26～28) |
|-------------------|-----------|--------|---------|--------|--------|--------|-------------------|
| | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成28年度 | |
| 除去等費用の補助件数 (件) | 3 | 2 | 12 | 12 | 12 | 12 | 36 |
| 事業費 (千円) | 当初予算額(千円) | | 計画額(千円) | | | | 計画額合計 (H26～28) |
| | 平成25年度 | | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | | |
| | 8,600 | | 8,600 | 8,342 | 8,342 | | 25,284 |

05 建築物の安全性の確保

| | | | | | |
|-----------------------------|--------|-----|-------|------|----------|
| 建築物耐震化支援事業 【事業 03040501】 | 担当部課係名 | 建設部 | 建築指導課 | ダイヤル | 237-5828 |
| | | | 指導係 | | |

事業概要

大規模地震による建物の倒壊から、市民の生命及び財産等を保護するとともに、緊急輸送路沿道建物等の耐震性を高めることで被害の拡大を抑制し、地震に強い安全で安心なまちづくりを推進する。

現況と課題

大規模地震は、いつどこで発生してもおかしくないと言われるなかで、建物の耐震化率を向上させることは重要な政策である。そうした中、耐震改修促進法の一部が改正され、地震に対する安全性の向上を一層促進するため、大規模な建物等の耐震診断実施の義務付けの措置が講じられた。

本市においては、木造住宅の無料耐震診断から耐震改修まで一連の支援体制を整えているが、耐震診断を円滑に推進していくために、耐震診断義務化の対象となる建物の新たな支援制度の創設が求められている。

今後の事業展開

引き続き、ホームページや広報誌を活用して啓発活動を行っていくとともに、「耐震相談窓口」を課内に常設し、各種イベント会場に「出張相談窓口」を開設する。また、地域と一体となった取組みを進めるため、自治会単位ごとのきめ細かな説明会を通して事業の啓発に務め、粘り強く耐震化を進めていく。

耐震改修促進法の一部改正に伴い、大規模建築物及び指定避難路沿道建物の耐震診断義務化に対する支援事業を創設する。

| 成果指標 | 実績値 | 見込み値 | 目標値 | | | 目標値合計 (H26～28) |
|-------------|-----------------------|------|---------|---------|---------|-------------------|
| | | | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 | |
| 耐震改修費の補助戸数 | 28 | 26 | 20 | 20 | 20 | 60 |
| 事業費 (千円) | 当初予算額(千円) | | 計画額(千円) | | | 計画額合計 (H26～28) |
| | 平成25年度 | | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | |
| | 現年度 2,220 繰越補正 37,650 | | 87,790 | 130,404 | 116,691 | 334,885 |

06 市民の居住環境の向上及び地域経済の活性化

| | | | | | |
|------------------------------|--------|-----|-------|------|----------|
| 住宅リフォーム助成事業 【事業 03040601】 | 担当部課係名 | 建設部 | 建築指導課 | ダイヤル | 237-5828 |
| | | | 指導係 | | |

事業概要

市民が個人住宅のリフォーム工事を行う場合に、経費の一部を助成することで居住環境の向上を図るとともに、小規模な住宅投資の市内施工業者への発注を促し、地域経済の活性化に寄与することを目的とする。

現況と課題

助成対象者のリフォーム実施期間に配慮し、前期、後期の年2回に分けて募集を行い、申込者が予定件数を上回った場合は、抽選により助成対象者を決定する。

今後の事業展開

甲府市ホームページや広報誌及びパンフレットを活用して啓発活動を行っていく。

事業期間は、平成27年度までの3カ年とする。

| 成果指標 | 実績値 | 見込み値 | 目標値 | | | 目標値合計 (H25～27) |
|--------------|-----------|------|---------|--------|--------|-------------------|
| | | | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 | |
| 住宅リフォームの補助戸数 | - | 211 | 200 | 200 | - | 400 |
| 事業費 (千円) | 当初予算額(千円) | | 計画額(千円) | | | 計画額合計 (H25～27) |
| | 平成25年度 | | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | |
| | 20,293 | | 20,110 | 19,507 | - | 39,617 |

*のついた用語は用語解説をご参照ください。

5 上水道

施策の基本的考え方

恵まれた水源を安心して未来へとつなぎ、安全でおいしい水道水の供給に努めます。
 危機管理体制の強化を図るとともに、水道施設耐震化計画に基づく地震対策、浄水場等主要施設の危機管理対策に努めます。
 経営基盤の強化、事業用資産の適正な管理に努めます。
 親しみやすくわかりやすい情報の提供、情報共有協働による透明性の高い事業経営、利便性の高いサービスの提供に努めます。
 環境会計の導入、効率的な水運用、環境負荷の軽減と新エネルギーの活用に努めます。

施策・事業の体系

| 区分 | 施策 | 事業 |
|-----------|---------------------|----|
| 上水道 05 | 01 安心・快適な生活環境の創造 | |
| | 02 危機管理対策の充実 | |
| | 03 持続可能な事業経営 | |
| | 04 満足度の高いお客様サービスの向上 | |
| | 05 環境に配慮した事業の推進 | |

6 下水道

施策の基本的考え方

汚水管きよの整備、公共用水域の水質保全に努めます。

危機管理体制の強化を図るとともに、雨水管きよの整備による浸水被害の解消、下水道施設の地震対策、合流式下水道*改善に努めます。

経営基盤の強化、事業用資産の適正な管理に努めます。

親しみやすくわかりやすい情報の提供、情報共有協働による透明性の高い事業経営、利便性の高いサービスの提供に努めます。

環境会計の導入、環境負荷の軽減と新エネルギーの活用に努めます。

施策・事業の体系

| 区分 | 施策 | 事業 |
|-----------|---------------------|----|
| 下水道 06 | 01 安心・快適な生活環境の創造 | |
| | 02 危機管理対策の充実 | |
| | 03 持続可能な事業経営 | |
| | 04 満足度の高いお客様サービスの向上 | |
| | 05 環境に配慮した事業の推進 | |

7 河川・水路

施策の基本的考え方

- 一級河川の改修促進に努めます。
- 計画的な整備によって浸水や冠水の防止に努めます。
- 良好な水辺環境形成に向けた河川敷整備に努めます。
- 河川美化に向けた啓発に努めます。
- 水路等の機能確保と財産の適切な管理に努めます。

施策・事業の体系

| 区分 | 施策 | 事業 |
|-------------|---------------|-------------|
| 河川・水路 07 | 01 河川の改修 | 01 一般河川改修事業 |
| | 02 浸水地域の解消 | |
| | 03 水辺空間の保全・整備 | |
| | 04 河川美化・浄化の推進 | |
| | 05 水路等の維持・管理 | |

01 河川の改修

| | | | | | |
|---------------------------|--------|-----|-------|------|----------|
| 一般河川改修事業 【事業 03070101】 | 担当部課係名 | 建設部 | 道路河川課 | ダイヤル | 237-5842 |
| | | | 河川係 | | |

事業概要

普通河川、生活関連水路の改修整備を行い、住民の生活環境の向上及び浸水被害から財産保全を図る。

現況と課題

台風等による豪雨時には、市で管理する普通河川や生活関連水路の排水先である一級河川の増水により、排水がスムーズにできずに水路が溢水する状況があるため、過去において被害を受けた地区では、効率的な排水システムの整備に苦慮している。

今後の事業展開

今後も優先度や事業の効果を考慮しながら継続して事業を進める。

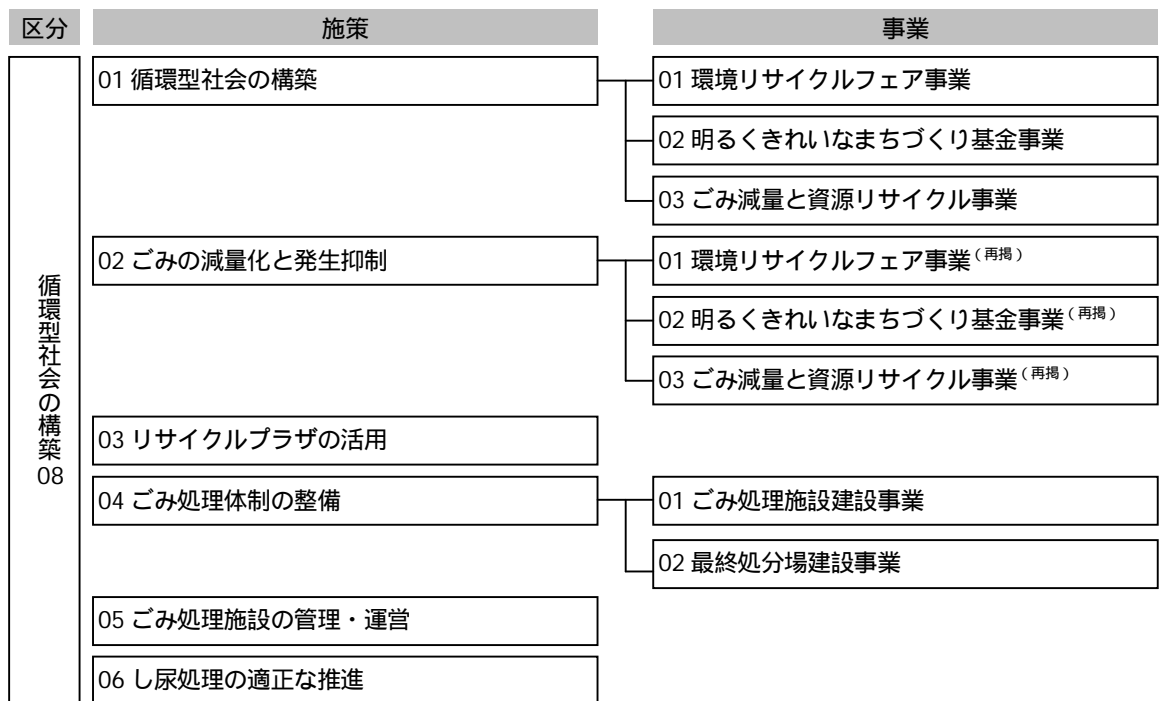
| 成果指標 | 実績値 | 見込み値 | 目標値 | | | 目標値 (H26～28) |
|-------------------------------|-----------|------|---------|--------|---------|-------------------|
| | | | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 | |
| 河川改修実施率(%) (年度施工延長/年度目標延長) | 49 | 45 | 100 | 100 | 100 | 100 |
| 事業費 (千円) | 当初予算額(千円) | | 計画額(千円) | | | 計画額合計 (H26～28) |
| | 平成25年度 | | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | |
| | 48,667 | | 65,063 | 70,623 | 173,710 | |

8 循環型社会の構築

施策の基本的考え方

分別回収の推進とリサイクル化（再資源化）の推進を図ります。
 ごみ減量化の啓発活動と新たな回収システムの構築に努めます。
 市民意識の高揚を図るため、環境に関する情報発信に努めます。
 次期ごみ処理施設の建設推進を図ります。
 処理施設の適正管理に努めます。
 収集体制の充実と処理施設の適正管理に努めます。

施策・事業の体系



01 循環型社会の構築

| | | | | | |
|-------------------------------|--------|-----|-------|------|----------|
| 環境リサイクルフェア事業 【事業 03080101】 | 担当部課係名 | 環境部 | 環境保全課 | ダイヤル | 241-4312 |
| | | | 保全係 | | |

事業概要

かけがえのない恵み豊かな環境を守り、次の世代へと引き継いでいけるよう、市民に対し環境問題に関する情報提供の機会として事業を実施し、市民の理解と啓発を図り、環境配慮型の行動が家庭を通じ、社会全体へと広がっていくことを目的とする。

現況と課題

市民に対し、環境問題に関する情報提供の機会として、理解と啓発は図られていると考えているが、更に多くの市民参加を得るためにイベント内容を充実させることが課題である。

今後の事業展開

引き続き、環境問題に積極的な団体、企業、NPO*等を募るとともに、新たな企画等を取り入れ、より多くの市民に対し、環境問題に対する意識の高揚が図られるよう努める。

| 成果指標 | 実績値 | 見込み値 | 目標値 | | | 目標値合計 (H26～28) |
|-------------|-----------|-------|---------|--------|--------|-------------------|
| | | | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 | |
| 来場者数 (人) | 8,000 | 8,000 | 8,500 | 8,500 | 8,500 | 25,500 |
| 事業費 (千円) | 当初予算額(千円) | | 計画額(千円) | | | 計画額合計 (H26～28) |
| | 平成25年度 | | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | |
| | 1,000 | | 1,000 | 970 | 970 | |

| | | | | | |
|-----------------------------------|--------|-----|-----|------|----------|
| 明るくきれいなまちづくり基金事業 【事業 03080102】 | 担当部課係名 | 環境部 | 減量課 | ダイヤル | 241-4327 |
| | | | 減量係 | | |

事業概要

ごみの減量に対する市民意識の高揚を図るとともに、ごみの資源化、再生利用等のごみ減量施策を推進するため設置された「甲府市明るくきれいなまちづくり基金」を活用し、甲府市リサイクル推進員連絡協議会*と協働して、自発的なごみ減量と資源リサイクルの推進を図る。

現況と課題

地域ぐるみとした取り組みの確立

今後の事業展開

リサイクル推進員連絡協議会と協働連携して地域住民のごみ減量と分別意識の高揚に努め、地域ぐるみのごみ減量と資源リサイクルを推進する。

指定ごみ袋及びごみ処理券を使用していない不燃ごみ排出に対する適正排出指導。

減量目標 480g達成に向けて「ミックスペーパー*の分別」や「生ごみの水切り」等の可燃ごみ減量に向けた地域住民への周知啓発と徹底。

| 成果指標 | 実績値 | 見込み値 | 目標値 | | | 目標値 (H26～28) |
|-----------------------|-----------|--------|---------|--------|--------|-------------------|
| | | | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 | |
| 地域計画を受けた 家庭系ごみ量(ト) | 53,794 | 53,158 | 51,925 | 51,665 | 51,407 | 51,407 |
| 事業費 (千円) | 当初予算額(千円) | | 計画額(千円) | | | 計画額合計 (H26～28) |
| | 平成25年度 | | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | |
| | 5,200 | | 5,200 | 5,044 | 5,044 | |

*のついた用語は用語解説をご参照ください。

| | | | | | |
|---------------------------------|--------|-----|-----|------|----------|
| ごみ減量と資源リサイクル事業 【事業 03080103】 | 担当部課係名 | 環境部 | 減量課 | ダイヤル | 241-4327 |
| | | | 減量係 | | |

事業概要

地球環境に配慮した施策の更なる推進により分別排出の一層の徹底を図るとともに、甲府・峡東地域循環型社会形成推進地域計画に基づく減量目標達成のための取り組みを展開していく。

現況と課題

減量目標である1人1日あたり生活系可燃ごみ排出量480g達成に向けて、更なる啓発運動の展開
市民にとって、より排出しやすい効率的な回収システムの構築
廃棄物の発生抑制に向けた、拡大生産者責任の原則の明確化

今後の事業展開

指定ごみ袋等による適正排出、ミックスペーパー・廃食油回収や有価物・資源物回収などの実践的事业を推進するとともに、「ごみへらし隊」などによる市民意識の向上や低年齢層からの環境教育などの啓発事業を充実し、ごみ減量化・資源化に向けた総合的な施策をより一層拡大していく。
啓発、指導業務を更に充実強化する中で、市民意識及び事業者意識の向上を図る。
より一層のごみ減量と資源リサイクルを推進するため、その他プラスチック製容器包装の分別回収を検討する。
新たな中間処理施設におけるごみの資源化について構成市と協議を行っていく。
可燃ごみの大きな割合を占める生ごみの減量化の取り組みとして、レジカゴを使った「しんぶんコンポスト」*の普及拡大を図る。
排出者の利便性向上のため、地域要望を踏まえて資源物24時間ステーションの拡充を図る。
落葉の堆肥化事業の推進にあたり、自治会連合会やボランティア団体等と協働して活動するとともに広報誌やホームページ、ごみへらし隊による出前講座等で紹介する中で普及拡大に努める。
使用済み小型電子機器等の有用金属の資源リサイクルに向けて、回収量の拡大を図る。

| 成果指標 | 実績値 | | 見込み値 | | | 目標値 | |
|---------------------------|-----------|--------|---------|---------|---------|---------------|--|
| | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 目標値(H26~28) | |
| 排出量減量率(%) (対:平成20年度基準) | 9.8 | 10.6 | 10.4 | 10.7 | 10.7 | 10.7 | |
| 事業費 (千円) | 当初予算額(千円) | | 計画額(千円) | | | 計画額合計 | |
| | 平成25年度 | | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 計画額合計(H26~28) | |
| | 453,884 | | 462,209 | 481,810 | 499,675 | 1,443,694 | |

02 ごみの減量化と発生抑制

| | | | | | |
|--|--------|-----|-------|------|----------|
| 環境リサイクルフェア事業 【事業 03080201 03080101】再掲 | 担当部課係名 | 環境部 | 環境保全課 | ダイヤル | 241-4312 |
| | | | 保全係 | | |

| | | | | | |
|--|--------|-----|-----|------|----------|
| 明るくきれいなまちづくり基金事業 【事業 03080202 03080102】再掲 | 担当部課係名 | 環境部 | 減量課 | ダイヤル | 241-4327 |
| | | | 減量係 | | |

| | | | | | |
|--|--------|-----|-----|------|----------|
| ごみ減量と資源リサイクル事業 【事業 03080203 03080103】再掲 | 担当部課係名 | 環境部 | 減量課 | ダイヤル | 241-4327 |
| | | | 減量係 | | |

04 ごみ処理体制の整備

| | | | | | |
|-----------------------------|--------|-----|-----|------|----------|
| ごみ処理施設建設事業 【事業 03080401】 | 担当部課係名 | 環境部 | 総務課 | ダイヤル | 241-4311 |
| | | | 庶務係 | | |

事業概要

甲府・笛吹・山梨・甲州の4市において広域の新ごみ処理施設等を建設する。(甲府・峡東地域ごみ処理施設事務組合経費に係る甲府市分負担金)

現況と課題

現行ごみ処理施設の使用期限が平成29年3月までとなり、「再延長はできない」との覚書が地元対策委員会と締結されたことから、平成29年度の新ごみ処理施設の稼働が確実なものとなるよう、事務組合と連携を図りながら進捗管理を行っていかねばならない。

今後の事業展開

平成29年度の新ごみ処理施設の供用開始が確実なものとなるよう、事務組合との連携・調整を行っていく。

| 成果指標 | 実績値 | 見込み値 | 目標値 | | | 目標値 (H26~28) |
|--------------------|-----------|------|---------|---------|---------|-------------------|
| | | | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 | |
| 建築スケジュール進捗率 (%) | 9 | 17 | - | - | - | - |
| 事業費 (千円) | 当初予算額(千円) | | 計画額(千円) | | | 計画額合計 (H26~28) |
| | 平成25年度 | | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | |
| | 251,267 | | 407,992 | 576,299 | 523,201 | |

| | | | | | |
|----------------------------|--------|-----|-------|------|----------|
| 最終処分場建設事業 【事業 03080402】 | 担当部課係名 | 環境部 | 処理課 | ダイヤル | 241-4363 |
| | | | 施設維持係 | | |

事業概要

最終処分場(境川処分場)建設事業に伴う山梨県市町村総合事務組合への甲府市分負担金。

現況と課題

現在、本市を含め山梨県内の市町村には中間処理施設から排出される焼却残渣(ばいじん、焼却灰)及び破碎残渣(破碎不燃物)の埋立を行える最終処分場がないため、県内の中間処理施設から排出される残渣の処分は全て県外の民間処理処分施設に依存している。

今後の事業展開

県内全市町村参加による組合立一般廃棄物最終処分場建設事業(平成30年度中の稼働予定)へ負担金を支出する。

| 成果指標 | 実績値 | 見込み値 | 目標値 | | | 目標値 (H26~28) |
|------------------|-----------|------|---------|--------|--------|-------------------|
| | | | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 | |
| スケジュール進捗率 (%) | 8 | 22 | - | - | - | - |
| 事業費 (千円) | 当初予算額(千円) | | 計画額(千円) | | | 計画額合計 (H26~28) |
| | 平成25年度 | | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | |
| | 50,089 | | 61,104 | - | - | |

9 環境保全

施策の基本的考え方

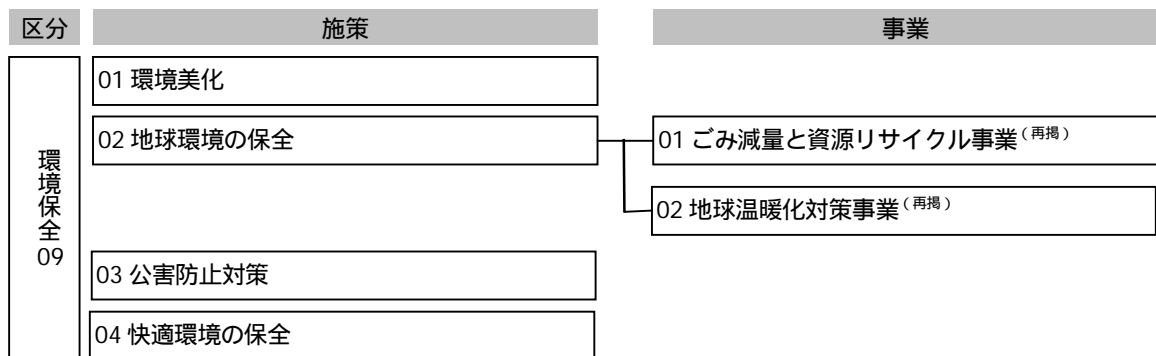
市民参加による河川清掃、不法投棄対策への取り組み等の環境美化活動の推進に努めます。

第二次甲府市環境基本計画*及び甲府市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）*を推進し、地域からの地球環境保全や環境教育の充実、地球温暖化防止対策及びエネルギー対策の推進に努めます。

特例市*の権限を生かした、公害防止体制の充実や発生源監視体制の充実、苦情処理体制の充実に努めます。

環境衛生として、消毒機の貸出、飼い犬・野犬対策の指導・徹底に努めます。

施策・事業の体系



02 地球環境の保全

| | | | | | |
|--|--------|-----|------------------------|--------|--------------|
| ごみ減量と資源リサイクル事業 【事業 03090201 03080103】再掲 | 担当部課係名 | 環境部 | 減量課 減量係 | ダ イル イ | 241- 4327 |
| 地球温暖化対策事業 【事業 03090202 03010201】再掲 | 担当部課係名 | 環境部 | 環境保全課 保全係 温暖化対策係 | ダ イル イ | 241- 4312 |

10 防災対策

施策の基本的考え方

地域防災計画の充実、防災意識の向上、建物等の耐震化・不燃化の啓発・促進、避難場所の確保、急傾斜地等危険地対策の推進、情報通信システムの充実、緊急医療体制の確立、防災倉庫の整備充実、災害ボランティアの育成に努めます。

物資の確保、通信手段の確保、迅速かつ適切な救助・救急医療及び消火活動、ライフライン・交通施設等の応急復旧に努めます。

ライフラインの復旧対策、被災者の自立支援に努めます。

自主防災組織*の強化、防災意識の高揚に努めます。

施策・事業の体系

| 区分 | 施策 | 事業 |
|------------|---------------------|-------------|
| 防災対策 10 | 01 災害に強いまちづくり（予防対策） | 01 防災対策整備事業 |
| | 02 災害応急対策 | |
| | 03 災害復旧対策 | |
| | 04 自主防災組織の強化 | |

02 災害応急対策

| | | | | | |
|---------------------------|--------|-----|-----|--------|----------|
| 防災対策整備事業 【事業 03100201】 | 担当部課係名 | 企画部 | 防災課 | ダイヤルイン | 237-5331 |
| | | | 防災係 | | |

事業概要

地域防災力強化のため、住民が行う初期消火活動に必要な消火栓用器具格納箱の設置を推進する。
 地域の防災活動を活性化させるため、防災リーダーを育成する「防災リーダー指導育成研修会」の充実・拡大に努める。また、研修会修了者を登録するとともに、登録者を各自主防災組織に紹介し、地域と防災リーダーが連携した地域防災力の向上に繋げる。
 自主防災組織が災害発生時に必要な防災資機材等を確保するとともに、その使用方法を修得するための訓練を実施する。
 災害発生時に必要となる非常用食料等の備蓄量を確保する。
 災害時の緊急対策に対応するため、指定避難所となる市有建物の屋上に番号表示を施す。
 災害対策本部の情報収集・伝達体制の強化及び復旧復興業務の円滑な実施のため、災害対応管理システム及び被災者支援システムを整備する。
 災害発生時の物資集積及び避難所への配送を円滑に行うための拠点施設を整備する。

現況と課題

防災資機材を、災害時に確実に使用するためには、使用方法の訓練とともに、資機材の適正管理が必要である。
 自主防災組織の活性化には、地域と連携した防災活動ができる防災リーダーとその活動ができる環境整備が必要である。
 大規模地震に備えた、きめ細かな備蓄品の整備が必要である。

今後の事業展開

消火栓器具格納箱や防災資機材等については、計画的に整備を進めるとともに適正な管理を行う。
 「防災リーダー指導育成研修会」を年2回開催し、防災リーダーの増員に努めるとともに、登録制度を活用し、自主防災組織の育成・強化をさらに図っていく。
 大規模災害に備え、非常用食料や防災資機材を増量するなど、きめ細かな備蓄品の整備を図っていく。

| 成果指標 | 実績値 | 見込み値 | 目標値 | | | 目標値 (H26～28) |
|---|-----------|--------|---------|--------|---------|-------------------|
| | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | |
| 消火栓器具格納箱一式の 設置率(%) (消火栓器具格納箱数/消火栓数) | 60 | 61 | 62 | 63 | 64 | 64 |
| 事業費 (千円) | 当初予算額(千円) | | 計画額(千円) | | | 計画額合計 (H26～28) |
| | 平成25年度 | | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | |
| | 33,953 | | 52,103 | 81,714 | 140,277 | |

*のついた用語は用語解説をご参照ください。

1 1 消防

施策の基本的考え方

火災予防に向けての防火思想の啓発に努めます。

予防・査察体制の強化、危険物等の安全指導の充実に努めます。また、住宅火災予防対策として、住宅用火災警報器等の設置推進に努めます。

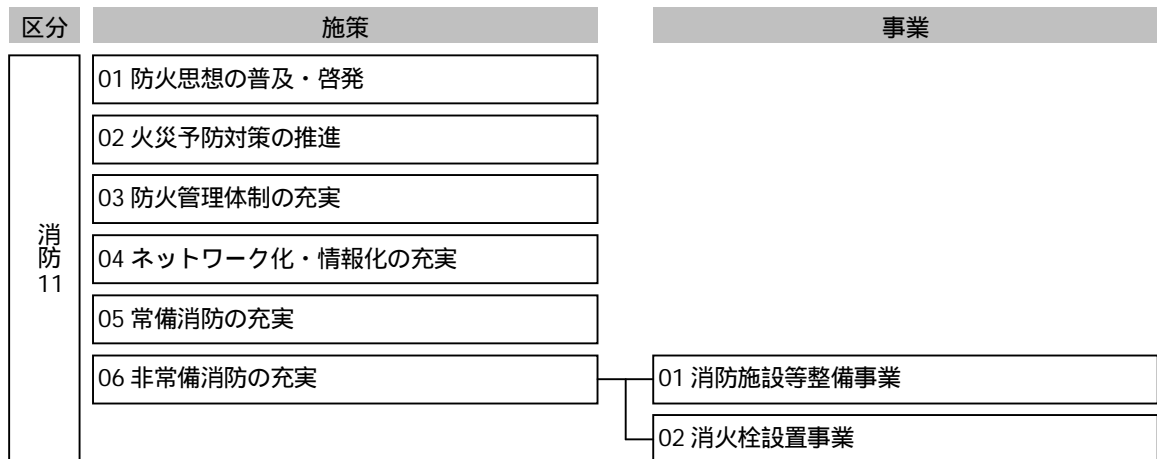
事業所などの防火管理体制の充実に向けた指導に努めます。

高機能消防指令センターを活用し、住民の安心・安全に努めます。また、庁内ネットワークを活用し、効率的な消防行政の推進に努めます。

消防施設及び装備の強化に努めます。

消防団車両及び資機材の整備・充実、消防団員の確保と資質向上、耐震性消防水利施設の整備に努めます。

施策・事業の体系



06 非常備消防の充実

| | | | | | |
|----------------------------|--------|------|----------|------|----------|
| 消防施設等整備事業 【事業 03110601】 | 担当部課係名 | 消防本部 | 警防課・人事課 | ダイヤル | 222-4119 |
| | | | 警防係・消防団係 | | |

事業概要

災害時に有効に活用できるよう整備するとともに、市民の生命・身体及び財産を守り、被害を最小限に抑えることを目的とする。

現況と課題

積載車及び小型動力ポンプについては、更新サイクルが長期化しているため、更新計画の見直しを図る必要がある。また、耐震性貯水槽の設置にあたり、市有地等、設置場所の確保及び工事費の増額が課題となっている。

今後の事業展開

各分団に配備してある小型動力ポンプ積載車及び小型動力ポンプを計画的に更新するとともに、常時良好に運用できるよう点検、整備を図る。

耐震性貯水槽は、震災発生時に最も有効な水利であり、設置を継続的に実施することにより、市民生活の安全が確保できるという観点から、継続的な事業推進が必要である。今後は、区画整理事業などと併せて整備が出来るよう関係部局と連携を図りながら設置を検討する。

| 成果指標 | 実績値 | 見込み値 | 目標値 | | | 目標値 (H26～28) |
|---|-----------|------|---------|--------|--------|-------------------|
| | | | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 | |
| 耐震性貯水槽設置進捗率 (当該年度の実績/当該年度の目標) (%) | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 |
| 事業費 (千円) | 当初予算額(千円) | | 計画額(千円) | | | 計画額合計 (H26～28) |
| | 平成25年度 | | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | |
| | 24,969 | | 69,153 | 66,814 | 66,814 | |

| | | | | | |
|--------------------------|--------|------|-----|------|----------|
| 消火栓設置事業 【事業 03110602】 | 担当部課係名 | 消防本部 | 警防課 | ダイヤル | 222-1269 |
| | | | 警防係 | | |

事業概要

市街地及び周辺地域に消火栓を設置することにより、火災発生時における住民による初期消火活動が容易になり、消防隊の水利部署により有効に火災防衛ができる。

現況と課題

消防水利の基準に基づき計画的に設置をしているが、住宅密集地等の道路幅が狭く、消防車両が進入出来ない地域や、水道配管の口径が消防水利の基準に適合しない地域など、消火栓を設置できない地域がある。

今後の事業展開

消火栓設置事業については、消防隊による実際のホース延長など図面上の設置計画だけでは実情にそぐわない箇所や、宅地開発、道路拡幅工事などにより消火栓の設置必要箇所の増加が見込まれるため、引き続き事業の推進が必要と思われる。

| 成果指標 | 実績値 | 見込み値 | 目標値 | | | 目標値 (H26～28) |
|--------------------------------------|-----------|------|---------|--------|--------|-------------------|
| | | | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 | |
| 消火栓設置進捗率 (当該年度の実績/当該年度の目標) (%) | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 |
| 事業費 (千円) | 当初予算額(千円) | | 計画額(千円) | | | 計画額合計 (H26～28) |
| | 平成25年度 | | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | |
| | 9,130 | | 9,830 | 9,535 | 9,535 | |

*のついた用語は用語解説をご参照ください。

1 2 防犯対策

施策の基本的考え方

犯罪や非行のない明るい社会を築くために市民一人ひとりの防犯意識の向上に努めるとともに、街路灯の経費助成を行うなど犯罪を誘発しない環境づくりに努めます。
関係機関との連携による防犯体制の強化に努めます。

施策・事業の体系

| 区分 | 施策 | 事業 |
|------------|---------------------------|-------------------|
| 防犯対策 12 | 01 地域防犯力の向上（地域防犯活動の促進・支援） | 01 街路灯助成事業 |
| | | 02 学校安全安心推進事業（再掲） |
| | | 03 安全安心街づくり事業（再掲） |
| | 02 防犯体制の強化 | 01 街路灯助成事業（再掲） |
| | | 02 学校安全安心推進事業（再掲） |
| | | 03 安全安心街づくり事業（再掲） |

01 地域防犯力の向上（地域防犯活動の促進・支援）

| | | | | | |
|--------------------------|--------|-----|-------|------|----------|
| 街路灯助成事業 【事業 03120101】 | 担当部課係名 | 市民部 | 市民対話課 | ダイヤル | 237-5298 |
| | | | 地域振興係 | | |

事業概要

防犯及び交通安全対策のため、自治会が維持管理している街路灯に要する経費（電気料、設置費、撤去費等及びLED灯交換費）の補助を行い、安全で明るい地域社会の形成に寄与する。

現況と課題

防犯街路灯のLED化への積極的な移行を進めるため、平成26年度から自治会への重点的な補助により、LED化を促進していく。

今後の事業展開

平成26年度から5年間における街路灯LED化促進事業においては、その実施状況を検証しながら事業の計画的な進行を図っていく。

| 成果指標 | 実績値 | | 見込み値 | | | 目標値合計 (H26～28) |
|-------------|-----------|--------|---------|---------|---------|-------------------|
| | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | |
| 助成対象灯数 | 21,121 | 21,131 | 21,141 | 21,151 | 21,161 | 63,453 |
| 事業費 (千円) | 当初予算額(千円) | | 計画額(千円) | | | 計画額合計 (H26～28) |
| | 平成25年度 | | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | |
| | 64,004 | | 159,456 | 142,626 | 123,378 | |

| | | | | | |
|--|--------|-----|-----------|------|----------|
| 学校安全安心推進事業 【事業 03120102 02010501】再掲 | 担当部課係名 | 教育部 | 学事課・学校教育課 | ダイヤル | 223-7322 |
| | | | 学事係・学務係 | | |

| | | | | | |
|--|--------|-----|-------|------|----------|
| 安全安心街づくり事業 【事業 03120103 06020501】再掲 | 担当部課係名 | 企画部 | 危機管理課 | ダイヤル | 237-5247 |
| | | | 危機管理係 | | |

02 防犯体制の強化

| | | | | | |
|-------------------------------------|--------|-----|-------|------|----------|
| 街路灯助成事業 【事業 03120201 03120101】再掲 | 担当部課係名 | 市民部 | 市民対話課 | ダイヤル | 237-5298 |
| | | | 地域振興係 | | |

| | | | | | |
|--|--------|-----|-----------|------|----------|
| 学校安全安心推進事業 【事業 03120202 02010501】再掲 | 担当部課係名 | 教育部 | 学事課・学校教育課 | ダイヤル | 223-7322 |
| | | | 学事係・学務係 | | |

| | | | | | |
|--|--------|-----|-------|------|----------|
| 安全安心街づくり事業 【事業 03120203 06020501】再掲 | 担当部課係名 | 企画部 | 危機管理課 | ダイヤル | 237-5247 |
| | | | 危機管理係 | | |

*のついた用語は用語解説をご参照ください。

1 3 消費生活

施策の基本的考え方

消費者が自主的合理的に行動できるよう消費者の自立支援に努めます。

消費者に対し、消費者教育の充実に努めます。

消費者相談の充実に努め、適切かつ迅速な処理を進めます。

消費者モニター制度*の推進と適正な計量の実施の確保に努めます。

施策・事業の体系

| 区分 | 施策 | 事業 |
|------------|-----------------|----|
| 消費生活 13 | 01 消費者利益の擁護及び増進 | |
| | 02 消費者教育の推進 | |
| | 03 消費者相談の充実 | |
| | 04 適正な計量の実施 | |

1 4 交通安全対策

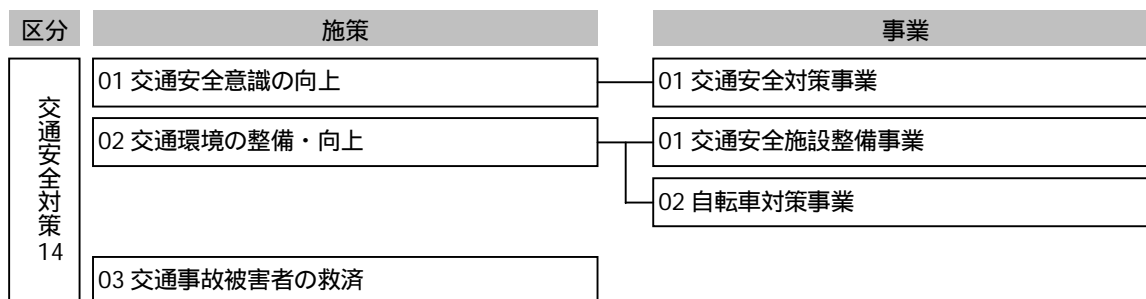
施策の基本的考え方

関係機関との連携による交通安全意識の向上に努めます。

カーブミラーなど各種交通安全施設の点検・整備、甲府市交通安全計画に基づく諸施策の推進に努めます。

交通災害共済への加入促進と交通事故相談体制の充実に努めます。

施策・事業の体系



01 交通安全意識の向上

| | | | | | |
|---------------------------|--------|-----|----------|------|----------|
| 交通安全対策事業 【事業 03140101】 | 担当部課係名 | 市民部 | 消費生活センター | ダイヤル | 237-5303 |
| | | | 交通安全係 | | |

事業概要

正しい交通ルールと交通マナーの徹底と交通安全意識の高揚を図る。
交通安全施設の整備を推進する。

現況と課題

平成 25 年度は全体の事故件数は減少したものの、車両相互の関係する事故の割合が高く、なかでも 65 歳以上の高齢者が関係する交通事故の割合が年々増加している。また近年、道路交通法をはじめとした関係法規の改正等の整備が進められており、市民への周知が求められる。このような中で、さらなる交通事故防止を強力に推進し、市民一人一人が思いやりを持って、命の尊さを認識し交通安全に真剣に取り組むよう、交通安全思想の普及と認識の徹底を図ってゆく必要がある。
交通安全施設の整備については、厳しい財政事情の中、本市の設置基準に基づき地域の要請に応えるよう整備を行っている。

今後の事業展開

山梨県や地元の警察署をはじめとする関係機関及び団体との連携・協調のもと、春・秋の全国交通安全運動をはじめ、各種の交通事故防止事業等に参画するとともに、幼児・児童・小学校 PTA 及び高齢者を対象に交通安全教室を充実し、交通安全意識の高揚に努める。
カーブミラー・自発光式交差点鏡の交通安全施設の整備を進めていく。

| 成果指標 | 実績値 | 見込み値 | 目標値 | | | 目標値 (H26～28) |
|----------------------|-----------|----------|----------|----------|----------|-------------------|
| | | | 平成 26 年度 | 平成 27 年度 | 平成 28 年度 | |
| 甲府市内における 交通事故発生件数 | 平成 24 年度 | 平成 25 年度 | 平成 26 年度 | 平成 27 年度 | 平成 28 年度 | 1,680 |
| | 1,944 | 1,602 | 1,680 | 1,680 | 1,680 | |
| 事業費 (千円) | 当初予算額(千円) | | 計画額(千円) | | | 計画額合計 (H26～28) |
| | 平成 25 年度 | | 平成 26 年度 | 平成 27 年度 | 平成 28 年度 | |
| | 7,940 | | 8,248 | 7,918 | 7,988 | |

02 交通環境の整備・向上

| | | | | | |
|-----------------------------|--------|-----|-------|------|----------|
| 交通安全施設整備事業 【事業 03140201】 | 担当部課係名 | 建設部 | 道路河川課 | ダイヤル | 237-5843 |
| | | | 道路係 | | |

事業概要

市民の交通安全の確保及び交通事故防止を目的に、甲府市が管理する道路における、交通安全施設の整備充実を図る。

現況と課題

交通安全対策特別交付金制度の活用による事業であるため、事業対象の範囲、規格が制限される。市で管理する膨大な道路延長に対して十分な予算の確保ができない。

今後の事業展開

市民生活における交通上の安全と快適性に貢献する事業として、交付金を活用し、交通安全担当や警察関係者とも協議を行い、必要とされる交通安全施設の設置を年次的に推進する。

また、道路の新設・改良等により道路案内標識の設置・変更が必要な箇所に、案内標識の設置・改良を行う。

| 成果指標 | 実績値 | 見込み値 | 目標値 | | | 目標値 (H26～28) |
|------------------------------|-----------|------|---------|--------|--------|-------------------|
| | | | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 | |
| 交通安全施設の執行率(%) (設計金額/予算金額) | 103 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 |
| 事業費 (千円) | 当初予算額(千円) | | 計画額(千円) | | | 計画額合計 (H26～28) |
| | 平成25年度 | | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | |
| | 56,703 | | 58,043 | 56,302 | 56,302 | |

| | | | | | |
|------------------------------------|--------|-----|----------|------|----------|
| 自転車対策事業(特別職給与を含む) 【事業 03140202】 | 担当部課係名 | 市民部 | 消費生活センター | ダイヤル | 237-5303 |
| | | | 交通安全係 | | |

事業概要

市営駐輪場を利用することで甲府駅周辺及び中心商店街の放置自転車を解消し、まちの景観の保全や通行障害の解消に繋げる。

現況と課題

平成25年9月定例市議会において自転車等の放置の防止に関する条例を制定し、自転車等放置禁止区域を指定した。中心街の市営駐輪場は、買い物客が店舗前に駐輪して買い物をするため、利用が少なく、自転車等放置禁止区域を設置するには、商店街の理解と協力が必要である。

安価で買える自転車の増加に伴い、長期放置自転車が增加している。

今後の事業展開

平成26年4月1日より、甲府駅北口地域の自転車等放置禁止区域内に放置された自転車等の撤去保管を行う。道路管理者と連携を図り、歩道や道路の放置自転車の撤去や市営駐輪場内の放置自転車等の実態を定期的に把握し、長期放置自転車の撤去を行う。

自転車利用マナー向上の啓発を図る。

中心街の駐輪場については、桜町市営駐輪場の更なる利用率向上に取り組んでいく。

| 成果指標 | 実績値 | 見込み値 | 目標値 | | | 目標値 (H26～28) |
|-------------------------------|-----------|-------|---------|---------|--------|-------------------|
| | | | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 | |
| 市営駐輪場の利用率(%) (利用台数/収容可能台数) | 68.8 | 72.10 | 80 | 80 | 80 | 80 |
| 事業費 (千円) | 当初予算額(千円) | | 計画額(千円) | | | 計画額合計 (H26～28) |
| | 平成25年度 | | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | |
| | 6,315 | | 38,621 | 124,534 | 26,543 | |